

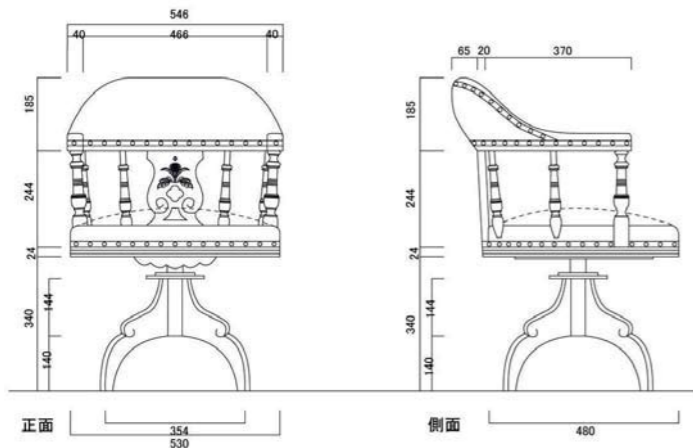
## 歴史的な建築の調査研究

研究室では文献調査とフィールド調査を行っています。家具から、住宅・建築、そして集落を対象に、貴重な文化遺産の保存・再生を目指しています。歴史的な建築に関心のある学生たちが、フィールド・ノートにスケッチし、寸法を実測し、図面を作成します。建物をつくるということだけでなく、大切な建物を残すことで、社会に貢献しています。ここでは最近のフィールド調査の風景や、成果の一部を掲載しています。



調査後の記念写真

### 家具・住宅



日本女子大学成瀬記念館分館は創立者の成瀬仁蔵が住んだ住宅です。建物と家具の調査を行い、文京区の指定文化財になりました。明治時代に中流階級の人たちが住んだ和風住宅の事例です。大正期の増改築によって、洋風化も図られています。



旧成瀬仁蔵住宅2階

### 茶室

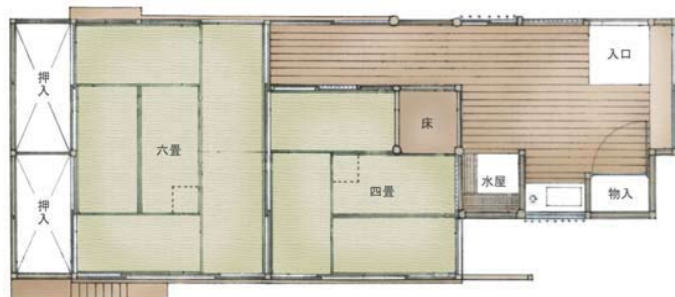
明治期には茶道の授業が行われていました。その頃、寄贈された茶室が現存しています。「静寧亭」と呼ばれ、四畳拵床の席で、本格的な草庵茶室です。何回か移築が繰り返され、炉の位置が当初とは異なっています。



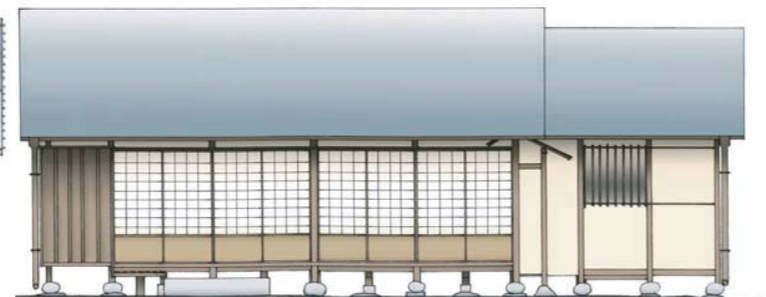
茶室内部



明治期のお点前



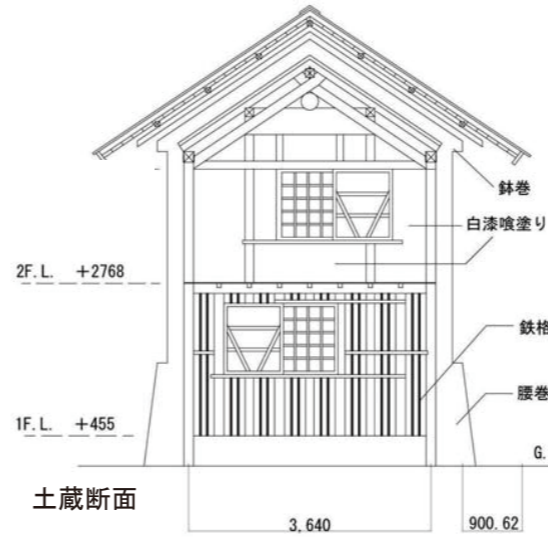
茶室現状平面



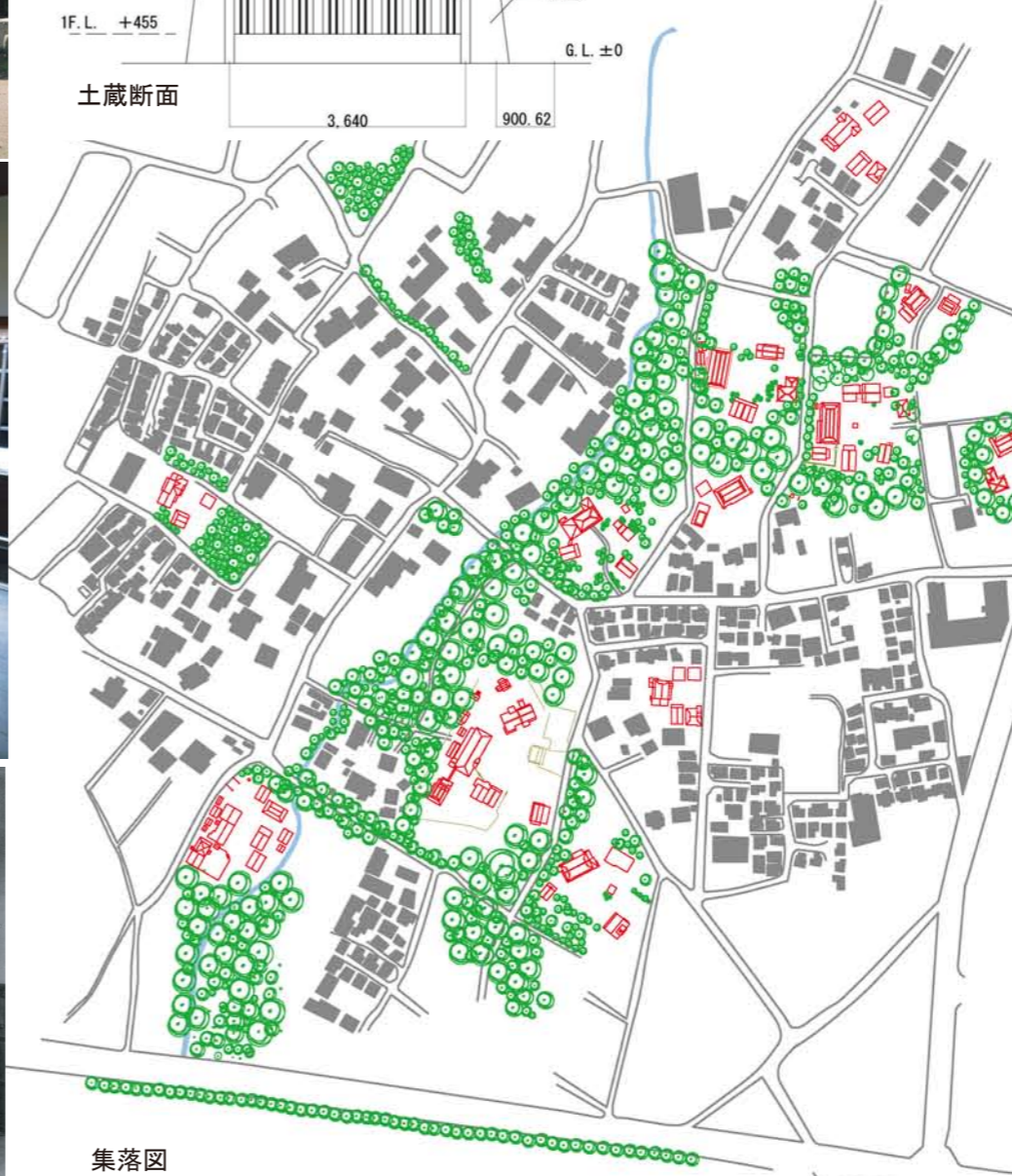
茶室現状南立面

### 土蔵

壁は土で30cm程度に厚く塗り、白漆喰を塗って仕上げます。防火建築で農村部では江戸時代中期以降に普及しました。武蔵野には、今でも土蔵が見られます。



土蔵断面



集落図



屋敷森遠景



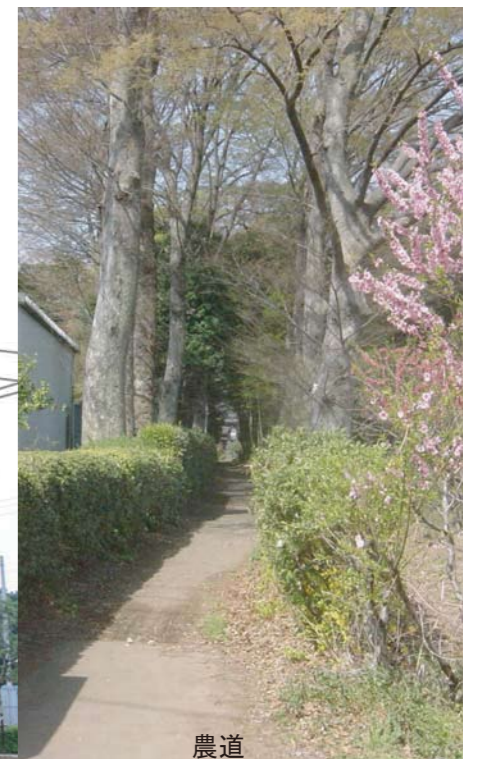
農家遠景



実測中

### 集落

かつての武蔵野は田園風景が広がっていました。東京都東久留米市には、その田園風景が残っている地区があります。屋敷地内には主屋、土蔵、納屋などが建ち並び、農家の屋敷構えを見ることができ、さらに屋敷林や、畑があり、東京都内では希少な農村集落です。



農道